



パーソナル グリーティングの処理

- [パーソナル グリーティングについて \(1 ページ\)](#)
- [パーソナル グリーティングの変更 \(3 ページ\)](#)
- [ユーザがビデオ グリーティングを再生するには \(4 ページ\)](#)

パーソナル グリーティングについて

Cisco Unity Connection では、パーソナル グリーティングを最大 6 つ録音できます。必要な数のグリーティングを有効にして、それぞれの有効期間を指定できます。

多言語システムの場合、複数の言語（デフォルトの言語とそれ以外のシステムで利用可能な言語）でパーソナルグリーティングを再生するオプションを選択できます。デフォルト以外の言語のグリーティングを管理する場合は、電話のキーパッドを使用します。ボイスコマンドは使用できません。

次に、6 つのパーソナルグリーティングとそのしくみについて説明します。Connection では、使用可能にしたグリーティングが適切な状況で再生されます。ただし、一部のグリーティングは他のグリーティングより優先されます。

オプション グリーティング

休暇中などの特別な状況を知らせたいときに、特定の期間内だけ再生する場合は、オプショングリーティングを使用可能にします（たとえば、「<日付>までオフィスにいません」）。使用可能になっていると、このグリーティングは他のどのグリーティングよりも優先されます。

電話を呼び出すことなくグリーティングに発信者を転送するかどうか、発信者がグリーティングをスキップできるかどうか、およびオプショングリーティングが使用可能なときに発信者がメッセージを残せるかどうかは、Connection の管理者が指定します。Messaging Assistant Web ツールの [オプショングリーティング (Alternate Greeting)] ページには、管理者が使用可能にしている発信者オプションが示されます（ある場合）。外部の発信者や他の Connection ユーザが内線をダイヤルして直接電話をかけた場合、発信者オプションは適用されません。



ヒント 他の **Connection** ユーザが電話でメッセージを送信した場合、そのユーザにはオプショングリーティングが再生されません。オプショングリーティングを使用可能にするだけでなく、録音名を変更して、不在であることを示す情報を追加することを検討してください。録音名は、他のユーザがメッセージの宛先としてその名前を指定したとき、またディレクトリでその名前を検索したときに再生されます。

オプショングリーティングをオンにすると、**Cisco PCA** のホームページにリマインダが表示されます。電話でサインインした後、オプショングリーティングが有効になっていることを知らせるように **Connection** を設定することもできます。

通話中グリーティング

通話中であることを示す場合は、通話中グリーティングを有効にします（たとえば、「現在別の電話に出ています。メッセージを残してください」）。通話中グリーティングが有効になっていると、通話中の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティング、時間外グリーティング、内線グリーティングより優先されます。

なお、**Connection** の通話中グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、**Connection** の管理者に問い合わせてください。

内線グリーティング

同僚に知らせる必要のある情報を提供する場合は、内線グリーティングを有効にします（たとえば、「本日の正午まで会議室Bにいます」）。内線グリーティングが有効になっていると、このグリーティングが標準グリーティングおよび時間外グリーティングより優先されます。また、内線グリーティングは、電話に 응답しない場合に社内の発信者に対してのみ再生されます。

なお、**Connection** の内線グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、**Connection** の管理者に問い合わせてください。

時間外グリーティング

Connection の管理者が指定した会社の営業時間外に、特別なグリーティングを再生する場合は、時間外グリーティングを有効にします（たとえば、「申し訳ありませんが、電話に出ることができません。当社の営業時間は <時間帯> です」）。時間外グリーティングが有効になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

標準グリーティング

標準グリーティングは、**Connection** の管理者が指定した会社の営業時間内、または他のグリーティングがすべて無効になっている状況において再生されます。設計上、標準グリーティングは無効にすることができません。

祝日グリーティング

祝日に特別なグリーティングを再生する場合は、祝日グリーティングをにします有効（たとえば、「今日は祝日でございますので、電話に出ることができません。<日付>～<日付>までオフィスにいません」）。祝日グリーティングが有効になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

パーソナル グリーティングの変更

個人設定をオンにすると、使用可能になるまでの待機時間を指定できます。Cisco Unity Connection は、指定された日時になるまで、グリーティングを適切な状況で再生します。その後、グリーティングは自動的にオフになります。たとえば、オプショングリーティングを設定して、休暇から戻ってきた日に再生を止めることができます。

グリーティングの再生を無期限に設定することもできます。これは、通話中グリーティングや時間外グリーティングをオンにするときに便利です。

グリーティングはいつでもオフにすることができます。グリーティングがオフのときは、録音が消去されていなくても Connection はそのグリーティングを再生しません。



(注) 多言語システムの場合、デフォルト言語のグリーティングに限り Messaging Assistant Web ツールでグリーティングを管理できます。他の言語のグリーティングを管理するには、電話を使用します。インプットスタイルを電話のキーパッド（[タッチトーンキーのみ（Keys Only）] オプション）に設定する必要があります。

ステップ 1 Messaging Assistant で、[グリーティング（Greetings）] メニューの [グリーティング表示（View Greetings）] を選択します。

ステップ 2 [グリーティング（Greetings）] ページで、変更するグリーティングを選択します。

ステップ 3 グリーティングをオフにするには、[<名前> グリーティング（<Name> Greeting）] ページの [無効にする（Disabled）] を選択してから、ステップ 5 に進みます。

または

グリーティングをオンにするには、適切なオプションを選択します。

オプション	説明
終了日時設定なしで有効にする（Enabled with No End Date and Time）	グリーティングが無期限に再生されます。
有効期限（Enabled Until）	指定した日時までグリーティングが再生されます。指定した日時になると、グリーティングは自動的に無効になります。

ステップ 4 [再生されるメッセージ（Callers Hear）] セクションで、適切なオプションを選択します。

ユーザがビデオ グリーティングを再生するには

オプション	説明
パーソナル レコーディング (My Personal Recording)	グリーティングを録音するには、そのフィールドの下にある利用可能なインターフェイスで [録音] を選択してグリーティングを録音します。録音を終了するときは [停止] を選択します。 (注) リリース 11.0 (1) 以前の場合は、フィールドで [再生\録音] オプションを選択して、メディアマスターをロードする必要があります。
システム デフォルト グリーティング (System Default Greeting)	あらかじめ録音されているシステム グリーティングを使用する場合に選択します。
なし	発信者にメッセージを残すように合図する発信音が再生されます。

ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

関連トピック

[パーソナル グリーティングについて](#) (1 ページ)

ユーザがビデオ グリーティングを再生するには

各ユーザのビデオグリーティングを再生できるようにするには、[表示されるメッセージ (Callers See)] セクションの [パーソナル レコーディング (My Personal Recording)] オプションを有効にします。

ビデオグリーティングの詳細については、『User Moves, Adds, and Changes Guide of Cisco Unity Connection』の「Configuring Video Services」の章を参照してください。

ビデオグリーティングが有効な場合に表示されるメッセージを指定するには、次のいずれかのソースから選択します。

パーソナル グリーティング (My Personal Greeting)	録音したビデオグリーティングを Unity Connection が再生します。 (注) ビデオグリーティングは、録音するだけでは有効になりません。
「発信音の後にメッセージを録音してください (Record Your Message at the Tone) 」のプロンプトを再生	発信音の後にビデオグリーティングを録音するように Cisco Unity Connection が発信者に求めます。このチェックボックスは、[コールアクション (Call Action)] が [グリーティング後 (After Greeting)] フィールドで [メッセージの録音を開始する (Take Message)] に設定されている場合のみ有効になります。このオプションが [システム デフォルト グリーティング (System Default Greeting)] に設定されている場合、チェックボックスは無効でオンのままになります。

ビデオ グリーティングはいつでも無効にすることができます。ビデオ グリーティングが無効の場合は、録音が消去されていなくても Connection はそのグリーティングを再生しません。

■ ユーザがビデオ グリーティングを再生するには